赤い靴通信　421 号

発行　赤い靴記念文化事業団
〒231-0023　横浜市中区山下町１番地　シルクセンター
TEL045 -641 -3066　FAX 045- 641-1881　TEL&FAX045-681-3186
MAIL akaikutu@cameo.plala.or.jp URL http://www.akaikutsu.net

父が洋画好きで、私もよく同行しましたが、いまでも心に残るシーンがあります。「モロッコ」という映画です。マレーネ・ディトリッヒが砂漠に向かって戦争に参加する恋人のゲーリークーパーを追っていくシーンです。行進とともに消えていく太鼓のリズムがやがて消えていく様が忘れられません。古い話ですね。実は聖路加病院の故日野原重明先生が同じことをご自分の本に書いておられることを前に発見したことがあるのです。エッ感動したシーンが同じなんだと、またそのことに感動したことがあります。

リズムは音楽の基本です、それにメロディーとハーモニーがついていくのですが、親が言うことには、私は子供の頃から太鼓の玩具が気に入っていたと言われましたからその傾向だと思います。中学に入った時、音楽の先生が音川仙八という方で、初めての音楽の時間にオーケストラの楽器の中で好きなものを言えというので、トランペットとかピッコロとかそれぞれ言いましたが、余り楽器にくわしくなかったので単純にドラムといったのです。先生は名前に音が付いているので音楽学校に入ったと言っておりましたが、やはり指導が上手であったし、ユーモアがあって楽しかったです。一般的な音楽の授業の後、当時流行した藤原義江の歌を歌わせたりしたのです。♪鉾をおさめて日の丸上げてです。年代的にまだご存じ方がいるかも知れませんが、もう一つは「船出の歌」です♪どんとどんとどんと波のり越えてです。先生が歌って後を順番にということですが、曲は聞き慣れているのですが、とても声が出ないと思ってしまうのです。私の前の坂本君が格好をつけて歌い始めました。上手いのです。とても無理だあんな声は出ないと思った矢先、松永と言われました。大きい声ではなく普通の声で歌いました。ところがとても上手く力強く出たので自分でも驚いたのです。今までこのような声が出たことはなかったと思いますし、初めてでした。その日の学校の帰り道、友達と歌いました。「春ちゃん藤原義江ばりだよ」と言われ「冷やかすなよ」といいながら、まんざらでもなかった自分の声に驚き、嬉しくもありました。次の週の音楽の時間、先生が「坂本と松永はいい声しているな。２人とも商業止めて音楽学校を目指せ」と言われました。音楽関係だったら私はどちらかというと打楽器パーカーションのがいいと思いました。戦争で何もかも希望も振り出しになった時、紹介で RTO という駐留軍系の旅行案内を手伝うことになり、それも夜勤というのです。その時、音川先生のこと思いだし、新聞を見てみると入学試験はあると書いてありましたが、結果的に試験はなかったのです。終戦のどさくさですべてがルール外れでしたし、授業料も安かったので東洋音楽学校に行きました。生徒は少なかったし先生も沢山居ると思えませんでした。１ヶ月くらい行った頃 RTO が変わって私は昼間の勤務に変わりました。仕事がなければ学費は無理なので学校は止めることになりました。

後年 PC を買って見ると学校は日本で一番古い音楽学校で今では１００年を越えていると言うことです。その出身者も黒柳徹子さん、春日八郎さん、淡谷のり子さんなど有名な方が多いのです。今は、東京音楽大学と名を変えていますが、もしも私がその道を選んでいたら、野中正先生やザ・シワクチャーズ横浜、横浜☆男声合唱団の指導者・長登章子先生は私の後輩ですね。私は音楽が好きな割に余りその道の勉強が好きな方ではないのですが、それでも、横浜商業高校のブラスバンドで欠員を埋め、チューバを吹いて戦争中に出征兵士を送ったり、英霊を迎えたりしました、社会人になって仲間でバンドを組んだときは「ハワイアン」の時は「ウクレレ」その他の時はボンゴ、コンガのパーカッションで参加しました。このときのバンド名は当時来日した「ザ・シティローラーズ」に似せてメンバーが年配者なので「ザ・コレストローラーズ」と言いました。慰問先は老人ホームでお客様は同年配の方が多かったです。また、私は長さ２センチ４穴のハーモニカでフォスターの歌を吹く特技をもっています。自慢にもならないですけれどね。とにかく思考的にも体質的にも音楽は分け隔たりなく好きです。６月２６日（日）杉田劇場で行われる第３５回赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会が待ち遠しいです。さてミュージカル「忍」はコロナ禍にも関わらず思いがけずに大勢の方にお越し頂きました。この感染症に出演者も観客も細心の注意を払って迎えたおかげでと感謝しています。また５月１５日から横浜市民こどもミュージカル「横浜三塔ねこ物語」の稽古が始まります。そして「中区ダンスフェスティバル」は１６回を数え、中区、関内大ホール共催で７月３１日（日）関内大ホールで開催されます。引き続き出演者、観客の皆様のコロナ禍対策に引き続きご注意をお願いいたします。

さて、先日、北海道新聞の横浜在住の記者が事務所に見えて赤い靴の像が北海道にも多いのですが、横浜の方のお考えをとインタービューされました。先日、ジュニアコーラス青隊・長崎美緒さんの北海道のご実家からその記事「中高生まなぶん」が送られてきて、お友達の赤１・犬飼結花さんとお母さんから記事をお見せ頂いたと連絡がありました。遠いところからのご縁を嬉しく思います。長崎さんから送られた新聞を裏面に載せます。

※お詫び　このところ赤い靴通信が月末に届かないケースが多くなりました。先月はミュージカル公演と一諸になって遅くなり、急いで４月１１日（月）に横浜港郵便局から出しましたが、同じ中区の方に何と１５日（金）に着いたそうです。早速問合せしましたら,横浜の郵便物は一度川崎局に送って整理してから、横浜に戻り配られるという事でした。今までの２・３倍の日数が掛かることがわかりました。なるべく早く着くよう努力します。

２０２２年４月３０日　　団長　松永　春

前回の「横浜三塔ねこ物語」舞台

前回の「中区ダンスフェスティバル」舞台風景

第 35 期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
開催日：６月 26 日（日）14:00 開演
会場：杉田劇場／ 全員ご招待！
観覧ご希望の方は上記赤い靴事務局まで
事前申し込みが必要です。

今後のスケジュール

★6 月 26 日（日）
第 35 期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
会場：杉田劇場
出演：赤い靴テンダーフット（ATF）
赤い靴ジュニアコーラス青隊、
赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
時間：14:00 開演　(開場 13:30)
※全員ご招待（要事前申込制）

★7 月 31 日（日）
第 16 回
中区ダンスフェスティバル 2022
会場：関内ホール・大ホール
料金：600 円
時間：時間帯は後日ご案内します

★8/6(土)・8/7(日)
横浜市民こどもミュージカル
「横浜三塔ねこ物語 2022」
会場：関内ホール・小ホール
公演は各日２回公演・全４回
※詳細は後日

★8/19(金)
「第 16 回東六忌」
会場：元町あかいくつスタジオ
※ザ・シワクチャーズ横浜 他